

## 癒しと安らぎの木工品づくりに定年後の夢を追う「<sup>むしょく</sup>夢職」

ころころ工房 奈良県天理市

山の辺の道にほど近い緑豊かな環境の中、自宅車庫を改造した小さな作業場で吉野材の木工品を手作りする『ころころ工房』（奈良県天理市）。「癒しと安らぎ」をテーマにした温もりのある生活雑貨やおもちゃが、静かな人気を集めている。

同工房代表の松本吉和さん（62歳）は、県立高校土木工学科の元教諭。授業の一環で建築物の模型を生徒とともに製作するうち、自らも木工細工を趣味にするようになった。

2009年3月に定年退職し、翌月『ころころ工房』を開業。同年秋に開催された「丹波の森ウッドクラフト展」（兵庫県）に「ころころ tree」を出展したところ優秀賞に選ばれた。このおもちゃは、葉は吉野檜の寄木、幹や土台は吉野の山桜でできており、上部から木の球が螺旋状に葉を転がり落ちる際に音を奏で、それが「チューリップ」「かえるの合唱」「ちょうちょう」などの童謡に聞こえるという仕組み。葉の位置を細かく調整し音階や音符の長さを表現するという精巧な作りだ。



ころころ tree (左)  
ひのきのブックスタンド (右)

10年5月には、奈良県が奈良ブランドの振興を図るプロジェクトである「奈良くらしくす」の第1回認定商品の一つに「ひのきのブックスタンド」が選ばれた。オブジェのような形状がインテリアとしても美しく、荒井奈良県知事もこの製品を愛用しているとのこと。

こうした評判を聞きつけたのが、奈良から全国へライフスタイル雑貨等を発信する「中川政七商店」。同社から請われ、現在、同工房の箸置き、スプーン、ペーパーウエイトなどが各地の店舗で販売されている。ただ製品を納入するだけではなく、例えば、いろいろな形の箸置きを組み合わせるなど、充実感のある仕事をしているという。



中川政七商店に納入している箸置き（左上）とスプーン（右上）



スプーンを製作中の松本吉和さん（下写真左）と松本政文さん（同右）（同姓なのは偶然とのこと）

各製品のデザインは松本吉和さんが手掛け、木材の加工はかつての教諭仲間である友人の松本政文さん（61歳）と2人で手作業する。良質な材料を用いた少量生産のため、利益はほとんどないとのこと。しかし、「お金もうけをするつもりはない。好きなことをやって皆に喜んでもらえるのがうれしい」と松本吉和さんは笑顔で語る。

両氏の差し出す名刺には「<sup>むしょく</sup>夢職」の肩書が。無職と掛けた遊び心だが、好きなモノづくりを通じて社会とつながり充実した日々を送る両氏の姿は、定年退職後の生き方のひとつのロールモデルともいえるのではないだろうか。

（吉村 謙一）



### ころころ工房

〒632-0053 奈良県天理市洪谷町 370  
TEL・FAX：0743-67-0760  
URL：http://koro2koubou.  
web.fc2.com/